作成（2024 年度）

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	川畑 宣之
所属機関名	工学部　情報工学科
職位	助教
在籍年	2 年

教育の責任

学科の専門教育において、情報通信(ネットワーク)分野の教育を担当している。担当科目は情報ネットワーク基礎論・コンピュータネットワーク・ワイヤレスネットワークなど情報通信分野を主としており、その他実践プログラミング I 等のプログラミング教育も担当している。
また、実習室のシステム管理も担当しており、実習を行う PC やサーバーの管理・構築・運用を日々実施している。

教育の理念

現実に使われている道具と学ぶ内容とのつながりを重視しており、普段使っている道具の仕組みを学ぶと、自らの手で現実世界に影響を及ぼせるという実感を得てほしいと考えている。特にネットワークの技術は、身近になりすぎた故に仕組みを理解している人の割合が少なく、このような実感とともに学ぶことで得られる価値は大きいと考えている。
また、学んだ技術が実際の仕事でどう使われることになるかを伝えることも重視しており、過去に実務を行った経験をもとに、社会と技術の関係について伝えたいと考えている。

教育の方法・方針

ネットワークの講義では座学であっても学生自身の PC やスマートフォンを使って簡単な実験を行うようにしている。また、身近な話題を Classroom の機能を使って質問し、フィードバックを行うような形をとっている。自分の道具で情報ネットワークの原理を体感することによって、学習する技術と現実とのつながりを理解できるようになって欲しいと考えている。
もう一つ、ネットワークの「設計」という課題を取り入れている。文章で「要件」を提示し、これを満たすような構成を、学んだ技術を使って実現するという内容となっている。これは学習した技術を現実の世界に適用する方法を学んでほしいという狙いとともに、技術者として「設計」ができることの社会的な重要性を伝えたいという意図がある。
また、ワイヤレスネットワークでは 15 回のうち少なくとも 1 回は最新の話題を盛り込んだ内容としており、現実と技術とのつながりを持ち、最新のニュースに耳を傾ける姿勢がとれるようになって欲しいという狙いがある。

教育の成果

授業アンケートとは別途 Google Form でフィードバックを得るようにしており、ネットワークコンピュータでは「講義を通して興味を持てたこと」について聞いたところ、身の回りのネットワークの仕組みや、学んだことが身近なところで役に立ちそう、設計に興味を持ちもっとやってみたいなど、こちらの狙いが伝わったと考えられる感想をいただくことができた。「設計」の課題については授業アンケートの自由記述でも好評を得ることができており、取り組んだ価

値があったと考えている。また、ワイヤレスネットワークでは、最新の話題として扱った衛星通信などの NTN(非地上系ネットワーク)が、独自アンケートで最も興味を持ったものとして多くの学生が挙げていた。これについても狙い通りの結果が得られたと考えている。
今後の目標
今後ネットワークの実習科目も担当することになるため、座学と実習をリンクした形にできるよう講義の内容を工夫していこうと考えている。また、ワイヤレスネットワークでも学生自身の機器で試すことができるような内容を増やし、より技術と身近な機器との距離を縮めていけるように工夫をしたい。 技術と社会のつながりについても説明する機会を増やし、学生の進路選択などに役立てられるようにすることを考えている。
根拠資料
授業アンケート、授業資料(配布スライド資料・課題等)、独自アンケート(Google Classroom 内 Forms)